

JA共済 小・中学生 書道コンクールのお知らせ



書道コンクールキャラクター
「キョショー」
©2006 JA-KYOSAI

書写・書道は世界に誇る日本の伝統文化です。

書写・書道の“考えて書く”という学習過程を通して、生涯にわたって活用できる「書く力」を学ぶことができ、集中力を高め、落ち着きが得られるといった内面的な効果から、子どもを大きく成長させてくれます。

このコンクールに、ご家庭で取り組んでみませんか？

審査員長の声



日展理事
新井 光風先生

書道は日本文化の根幹

今の時代、他国の文化をインターネットですぐに知ることができますが、他国の文化を理解するためには、まず自分たちが日本の文化、芸術、そして書を理解すること、尊重することで、より理解が深まるのだと思います。

書道は文字を大切にすること。これは日本の芸術の根幹を成すものです。小学生、中学生の皆さんが書写・書道に情熱をかけ、積極的に取り組むことはとても素晴らしいことだと思います。

詳しい
応募方法は
コチラ



JA共済連長野 検索

<https://www.jakyosai-nagano.jp/>

受賞者の声

令和元年度 農林水産大臣賞(半紙)

「努力が実る」徳島県 小学校5年 三井 輝星

「農林水産大臣賞」の受賞を知ったとき、真っ先に喜んでくれたのは両親でした。「よくがんばった」と今までで一番ほめてくれ、三人でハイタッチをしました。祖父母に報告すると祖父は泣いて喜んでくれ、すごい賞を受賞したんだと改めて実感しました。「希望の風」は書道の先生と納得するまで何度も書き直した作品です。「望」の「亡」のはらいや「月」の角度が上手く書けず苦労しましたが、あきらめず書き続けて本当に良かったです。努力すれば結果が出ることを書道を通して学びました。これからも一文字一文字でいねいに仕上げ、努力をおさず、また家族を喜ばせたいです。



令和元年度 文部科学大臣賞(半紙)

「書の心」静岡県 中学校3年 高橋 あい

小学校一年のときから毎年、このコンクールで上位入賞を目指し、挑戦してきました。ついにラストチャンスの中学校三年で、文部科学大臣賞をいただきました。跳び上がるくらい嬉しかったです。しかし、この賞は自分の力だけではなく、ユーモアを交えながら的確な助言で指導して下さった先生、良い所を褒めるなど応援してくれた家族、そして切磋琢磨した仲間たちがいたからこそ、この受賞となったことに心から感謝しています。「字はその人の心を表す」と私はいつも考えています。そのため、常に無心に硯に向かうようにしています。これからも自分の心を表現できる「書」を目指したいと思います。

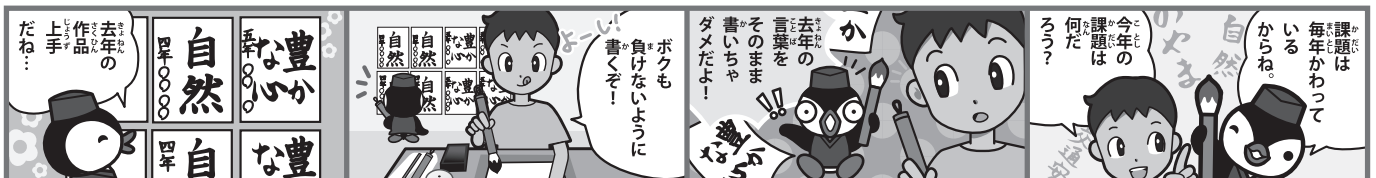


「JA共済 小・中学生 書道コンクール」応募のヒント

学年は正しく書けているかな？



正しい言葉を書いているかな？



課題や詳しい応募方法はコチラ



キョショーの上達ポイント

何枚か練習したら、お母さん・お父さん、学校の先生に見てもらおう。自分の字の上手にできたところ、練習した方がいいところをアドバイスしてもらってね。お友だちの作品とも見比べてみよう！

後援

長野県・長野県教育委員会・JA 長野中央会・JA 長野県組合長会・日本農業新聞・信濃毎日新聞社・SBC 信越放送・NBS 長野放送・TSB テレビ信州・abn 長野朝日放送・長野エフエム放送

課題

小学生			中学生		
学年	条幅の部	半紙の部	学年	条幅の部	半紙の部
第1学年	ひかり	えみ	第4学年	明るい声	成長
第2学年	きずな	みらい	第5学年	自然の美	希望の道
第3学年	助けあい	まなざし	第6学年	価値の創造	四季の花
			第1学年	伝統の継承	豊年満作
			第2学年	柔軟な発想	地域連携
			第3学年	荘厳な自然	初志貫徹

注意事項：作品のご応募は、学校を通じて、最寄りのJAへご応募ください。入選・入賞にかかる新聞等への発表は、作品へ貼付された名札に記載の「学校名」「学年」「氏名」が掲載されます。そのほか詳細は、JA共済連長野ホームページをご覧ください。